

早稲田大学に快勝！

	1Q	2Q	3Q	4Q	計
明治大学	7	10	3	7	27
早稲田大学	0	0	0	7	7

早稲田の攻撃で始まった試合。開始早々、早稲田QB船橋怜のパスをDB#16 藤川幸大がパスインターセプト。攻守交替となりRB#39 廣長晃太郎のTDで先制。攻撃権を早稲田に渡し、またしてもDB#3松井広葉のパスインターセプトにより、攻撃権を奪う。

その後昨シーズン、ここぞというところでフィールドゴールを決めていた、K#4 近藤倫が43ヤードのフィールドゴールを決め、前半17：0で折り返す。テンポの良い試合展開は後半も変わらず、早稲田の反撃は7点で終わった。

2年生QB対決は、明治#15新楽圭冬に軍配が上がった。

立命館大学戦・みどころ

ここ数年、関西学院大学、関西大学に敗北を喫し、甲子園ボウル出場の切符を手に入れられていない立命館。

春シーズンは、今のところ負け知らず。先週の法政大学との交流戦も31対21と勝利した。

エースRBの山崎大央（3年）と1年生RB葦部雄望のローテーションでじりじりと敵陣まで進み、4年生QB宇野瑛祐、庭山大空からのロングパスで得点を重ねるのが春の勝ちパターンのようなのだ。圧倒的な強さのOL陣の支えがあつての展開であることは言うまでもない。

対する明治は不用意なパスを投じるとインターセプトされることが容易に想像できる。OL陣がいつも通り力強く支えてくれることで、RB陣が走り、QBが楽に投げられる展開になると、勝機をぐっと引き寄せる。

コロナ渦で遠征での試合は出来なかった。勝負はさることながら、出稽古よろしく、すべてが秋に向けての糧になるだろう。

GOOD LUCK !

6月11日(日)12:30 びわこ草津キャンパスクインズスタジアム **kick off**